

橋梁番号 (分割番号)		68402 -2		フリガナ 橋梁名	クサナギホドウキョウ 草薺歩道橋		上下線 歩・車	分離なし 歩道橋	標準点検調書(1.橋梁概略諸元)				市町村	見附市	管理 区分	2	点検日	2019/10/17									
路線情報	道路種別		その他市町村道						橋梁種別		橋								位置情報	地区							
	路線名		南本町・名木野線						有料区分		一般(無料)橋									架橋位置	起点側	見附市	南本町2丁目				
	道路規格		種	級	設計速度	km/h		センサス		年次	区間番号						終点側	見附市			月見台1丁目						
	緊急輸送道路		指定無し						交通量		台/日				台/日					距離標		K					
構造諸元 共通情報	路面位置		上路						交通制限状況		自動車交通不能								経度・緯度	E 138 -55 -26.05 N 37 -31 -08.74							
	上部工構造形式		桁橋(H桁)						迂回路		あり							道路台帳番号		図面番号	39	区間順序番号	4	-	53		
	上部工材料		鋼橋						交差種別/名称	河川	刈谷田川								位置図 								
	床版材料		鋼床版							その他	高水敷内通路																
	下部工基礎		既成鋼杭						河川種別/管理者		1級河川	新潟県															
	橋長	114.8 m		最大支間長		23.3 m		第三者被害危険性	道路管理者	あり	新潟県																
		幅員構成	総幅員	3.80 m		／	拡幅部		なし		鉄道管理者	なし															
	内訳		車道	0.00 m			歩道	3.00 m		塩害区分		外															
	適用示方書		S 48						海岸線からの概算距離		18.40 km																
	橋格								凍結防止剤散布計画		なし																
	重要度区分(耐震)	設計荷重	その他						塩害対策	塗装の有無	なし																
										対策の有無	なし																
	耐荷荷重		その他						鋼部材防食	防食工法	重防食塗装																
	架設年次		昭和 56 年 2 月 竣工							塗装面積	1,659 m <sup>2</sup> (高欄含む全塗装面積)																
	維持管理情報																										
現地写真 全景(桁がわかる側面の写真)							現地写真 近景(路面のわかる写真)							備 考													
														■本点検方法 ・橋梁点検車による点検(ポールカメラ併用) 345.8m2 ・高所作業車による点検 90.4m2 ・交通規制方法 片側交互通行規制(車道橋)  ■占用物件あり ・東北電力管													
														マイクロフィルム番号							-	~	-				

橋梁番号 (分割番号)	68402-2	フリガナ 橋梁名	クサナギホドウキョウ 草薙歩道橋	上下線 歩・車	分離なし 歩道橋
----------------	---------	-------------	---------------------	------------	-------------

標準点検調書(2.総合検査結果)

市町村	見附市	点検日	2019/10/17
-----	-----	-----	------------

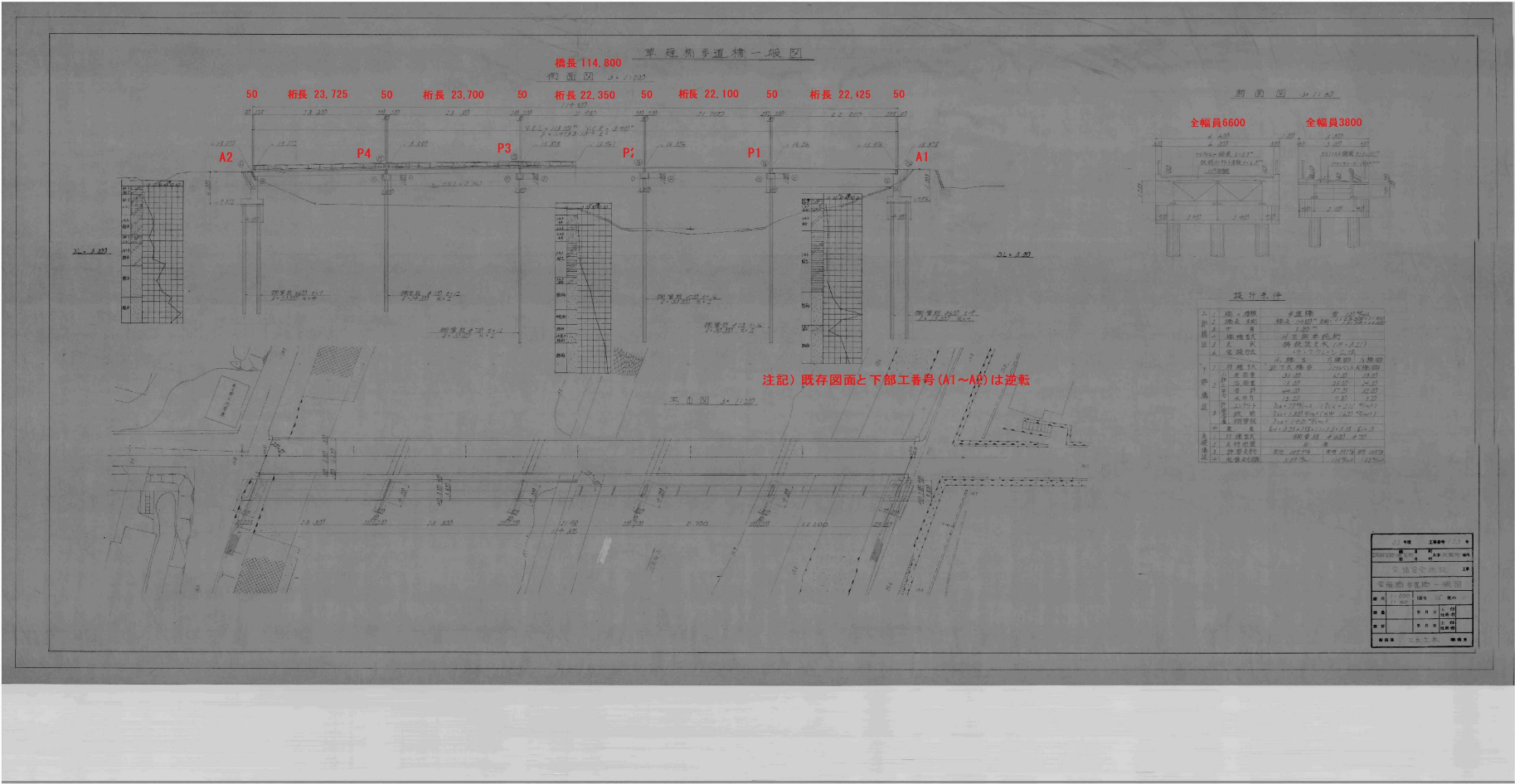
総合検査結果	会社名		株式会社 構造技研新潟		橋梁点検者		福崎 正和					
	本橋は単純鋼非合成H桁橋(スラブプレート床版)であり、昭和56年の竣工から約38年が経過している。前回点検は平成27年度に実施。 1.主構造[C1]:上部工鋼部材は、前回塗装(平成20年)から約11年が経過し局部的に腐食が生じている。前回点検から著しい進行は見られないが、部分的な塗替えを行うことが望ましい。 2.床版[C1]:スラブプレート床版の腐食、遊離石灰は、主に片持ち床版やプレート継目に見られ、橋面水の浸透あるいは地覆側面からの漏水が原因と考えられる。前回点検から著しい進行は見られないが、主構造の腐食抑制の観点から橋面防水及び地覆下面の水切り板設置を行い、部分的な塗装塗替えを行うことが望ましい。 3.下部工[C1]:下部工のひびわれは、初期欠陥(乾燥収縮及び水和熱)や経年劣化によるものと考えられ、幅0.2mm以上のものについては、ひびわれ補修を行うことが望ましい。剥離、うきは、経年劣化によるものであり、断面修復を行うことが望ましい。漏水は伸縮目地からの漏水と考えられ、上・下部工の劣化原因となるため、伸縮装置の設置を行うことが望ましい。橋脚パイルベントは、建設時塗装(昭和54年)から約40年が経過しており、全体に表面的な腐食が見られるため、全面塗装塗替えを行うことが望ましい。なお、何れの損傷も著しい進行は見られない。 4.支承部[C2]:A2支承アンカーボルトの突出は、建設時からのものと考えられるが、地震時に対する性能が低下しており、沓座モルタルの欠損も著しく、支承の沈下が懸念されるため、主桁の仮受けを行い、支承の据直し(新設アンカー)を行うことが望ましい。その他、支承部における損傷は、塗装塗替え及び沓座モルタルの断面修復を行うことが望ましい。 5.路上[C1]:地覆側板の腐食は、前述のように水切り板設置と併せて当て板補修を行うことが望ましい。伸縮目地は、前述のように伸縮装置の設置を行うことが望ましい。舗装は橋面防水と併せて舗装打替えを行うことが望ましい。 6.その他[C1]:排水管の腐食は、部分的な取替え等補修を行うことが望ましい。											
	大区分		中区分		小区分		対策区分 (最も悪いもの)		損傷の種類			
	上部工		主構造		主桁		C		腐食			
							C		防食機能の劣化			
					横桁		B		腐食			
			床版		床版		M		その他			
	下部工		橋台		橋台		B		ひびわれ			
							B		剥離・鉄筋露出			
	損傷の概要							B		漏水・遊離石灰		
						B		漏水・滞水				
		橋脚		橋脚		M		その他				
支承部		支承		支承		M		ゆるみ・脱落				
		沓座モルタル		沓座モルタル		C		変形・欠損				
		落橋防止システム		落橋防止システム		C		腐食				
						C		防食機能の劣化				
路上		高欄		高欄		M		腐食				
						M		変形・欠損				
		地覆		地覆		M		腐食				
						M		その他				
		伸縮装置		伸縮装置		B		漏水・滞水				
						B		変形・欠損				
		舗装		舗装		M		舗装の異常				
		照明施設		照明施設		M		腐食				
その他		排水管		排水管		M		腐食				
		添架物		添架物		B		変形・欠損				
【参考】 概略対策 計画費用	上部工		下部工		支承部		路上		その他		合計	
	21,441,000		1,828,500		3,800,000		6,863,000		1,600,000		35,532,500	

橋梁番号 (分割番号)	68402 -2	フリガナ 橋梁名	クサナギホドウキョウ 草薙歩道橋	上下線 歩・車	分離なし 歩道橋	径間 番号	-
----------------	----------	-------------	---------------------	------------	-------------	----------	---

標準点検調書(3.径間別一般図)

市町村	見附市	点検日	2019/10/17
-----	-----	-----	------------

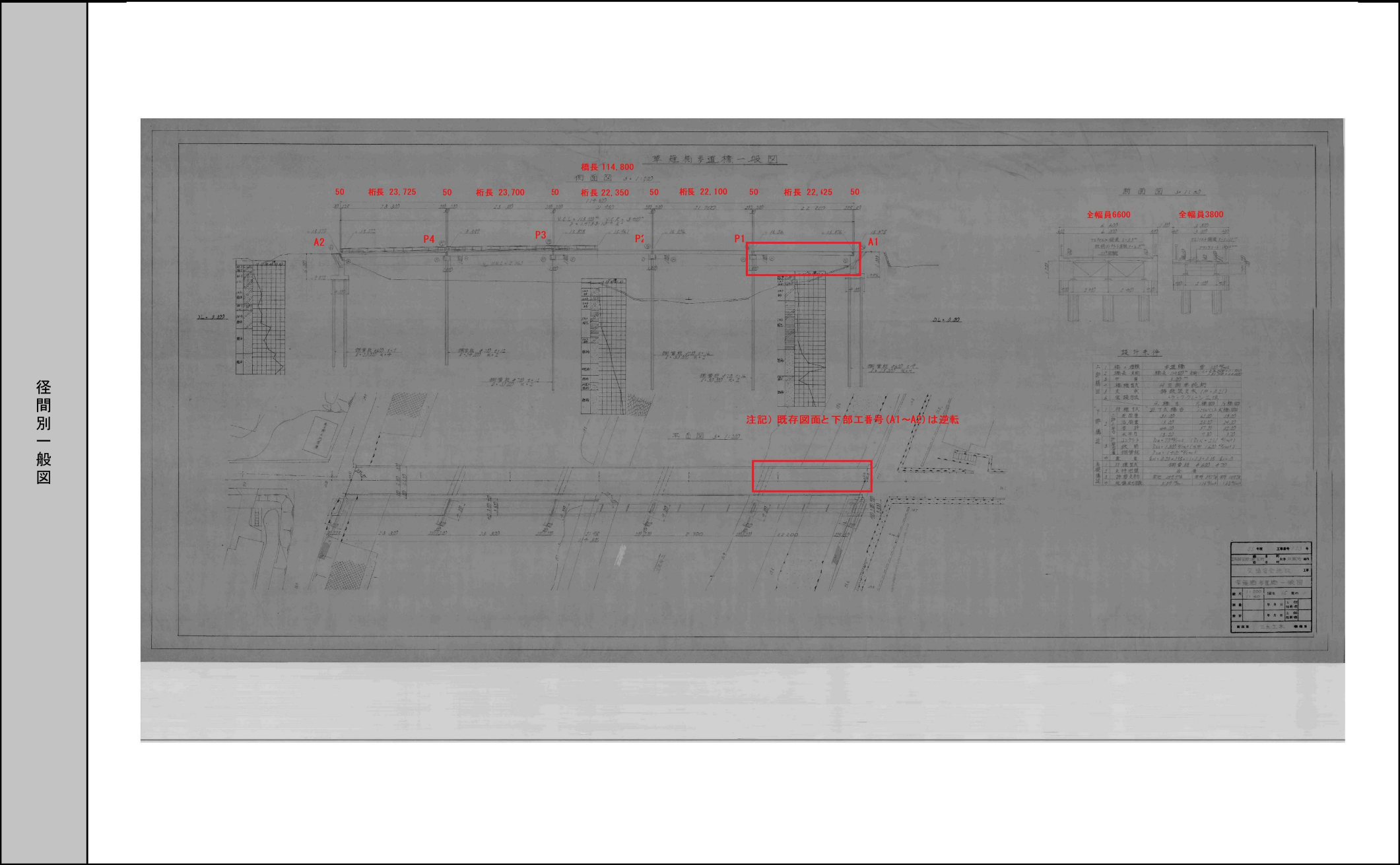
全体一般図



橋梁番号 (分割番号)	68402 -2	フリガナ 橋梁名	クサナギホドウキョウ 草薙歩道橋	上下線 歩・車	分離なし 歩道橋	径間 番号	1
----------------	----------	-------------	---------------------	------------	-------------	----------	---

標準点検調書(3-2.径間別一般図)

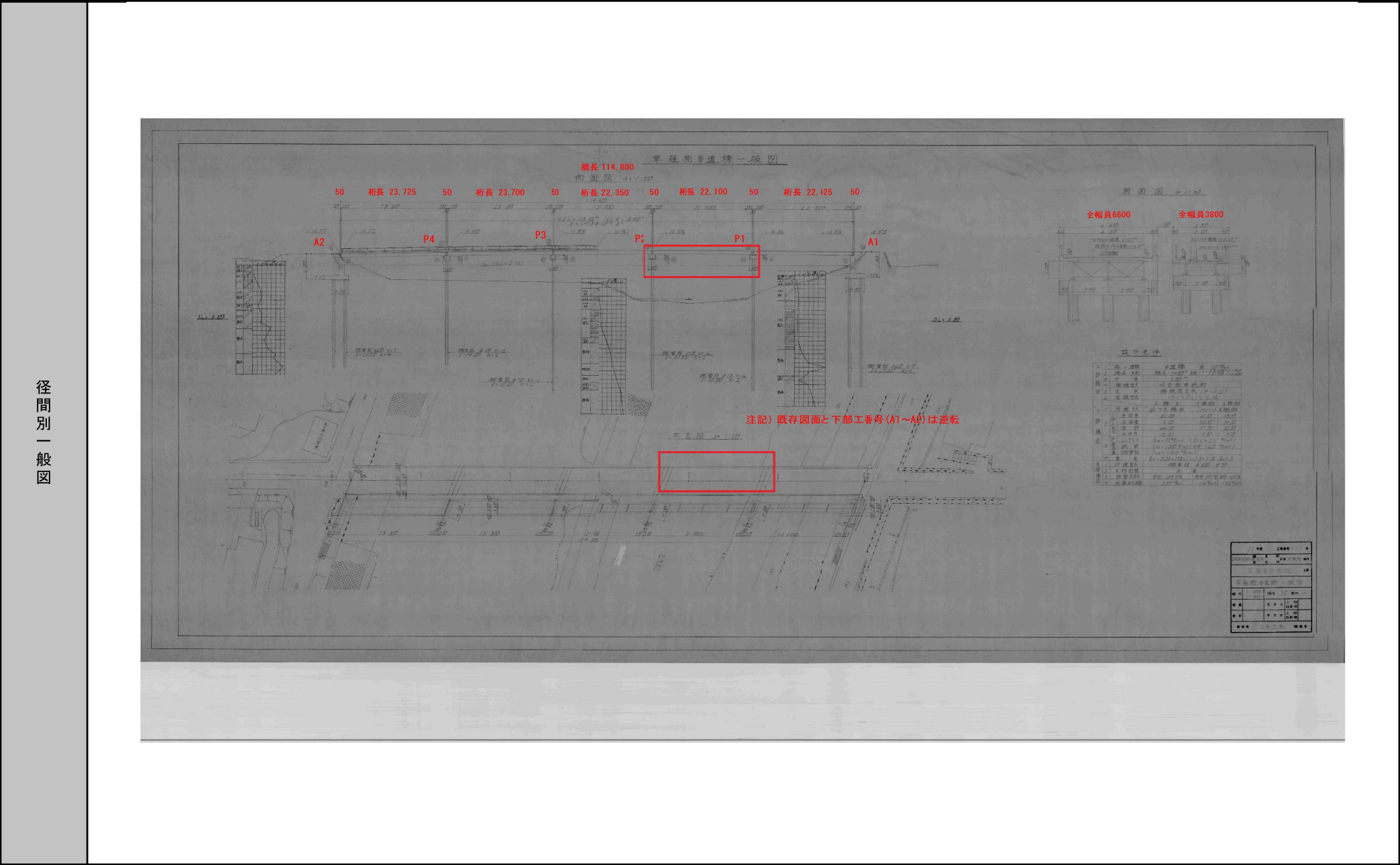
市町村	見附市	点検日	2019/10/17
-----	-----	-----	------------



橋梁番号 (分割番号)	68402 -2	フリガナ 橋梁名	クサナギホドウキョウ 草薙歩道橋	上下線 歩・車	分離なし 歩道橋	径間 番号	2
----------------	----------	-------------	---------------------	------------	-------------	----------	---

標準点検調書(3-2.径間別一般図)

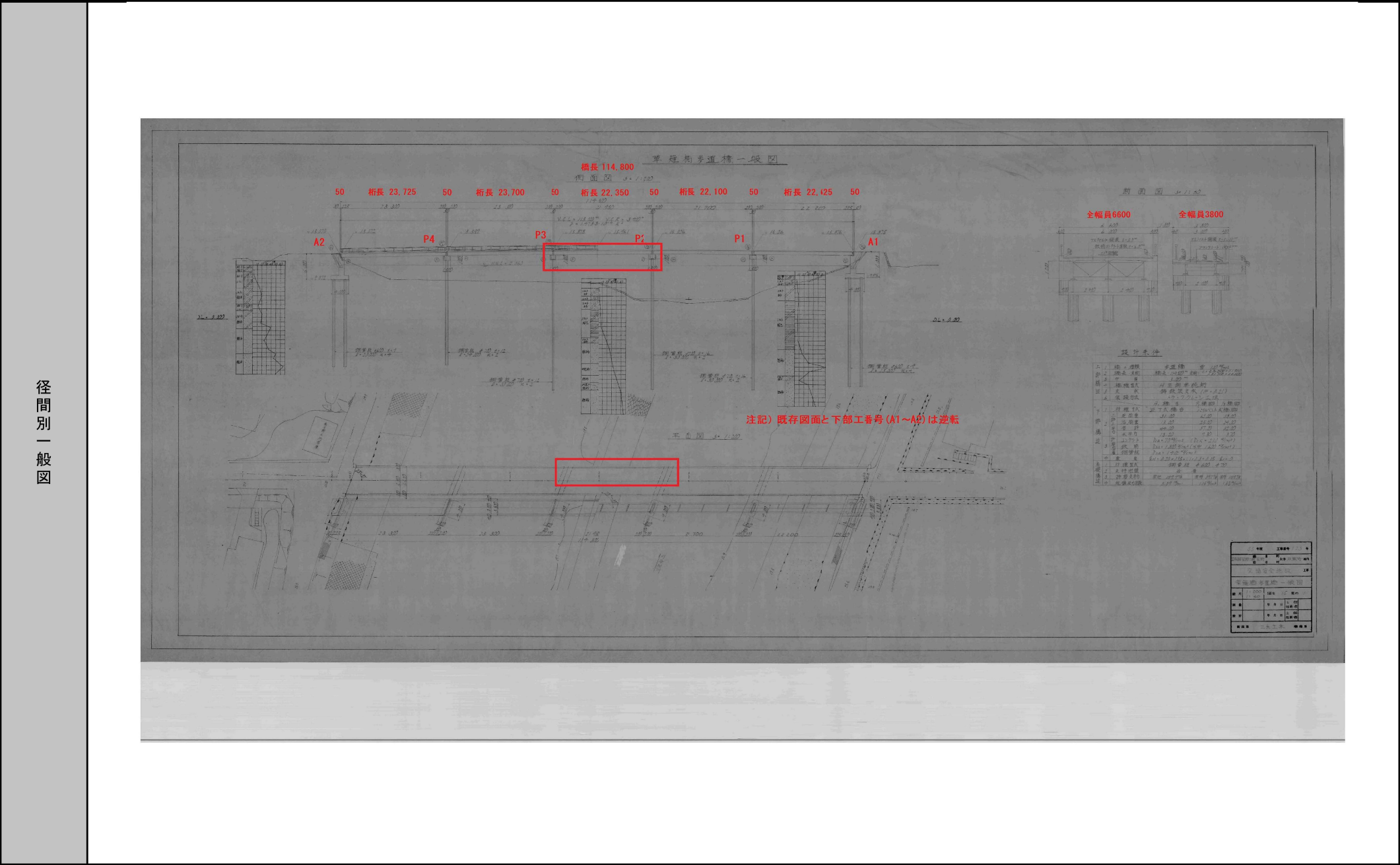
市町村	見附市	点検日	2019/10/17
-----	-----	-----	------------



橋梁番号 (分割番号)	68402 -2	フリガナ 橋梁名	クサナギホドウキョウ 草薙歩道橋	上下線 歩・車	分離なし 歩道橋	径間 番号	3
----------------	----------	-------------	---------------------	------------	-------------	----------	---

標準点検調書(3-2.径間別一般図)

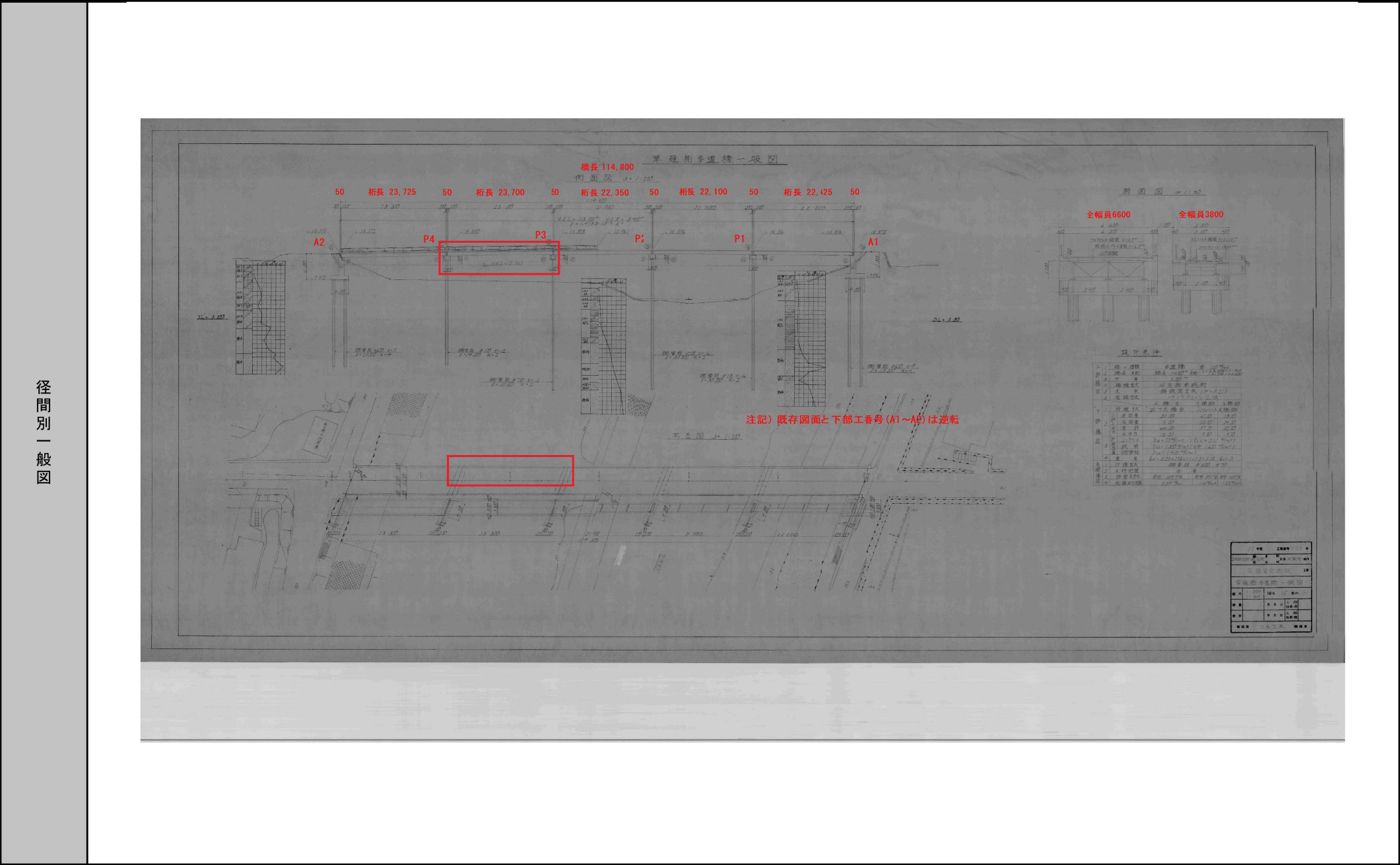
市町村	見附市	点検日	2019/10/17
-----	-----	-----	------------



橋梁番号 (分割番号)	68402 -2	フリガナ 橋梁名	クサナギホドウキョウ 草薙歩道橋	上下線 歩・車	分離なし 歩道橋	径間 番号	4
----------------	----------	-------------	---------------------	------------	-------------	----------	---

標準点検調書(3-2.径間別一般図)

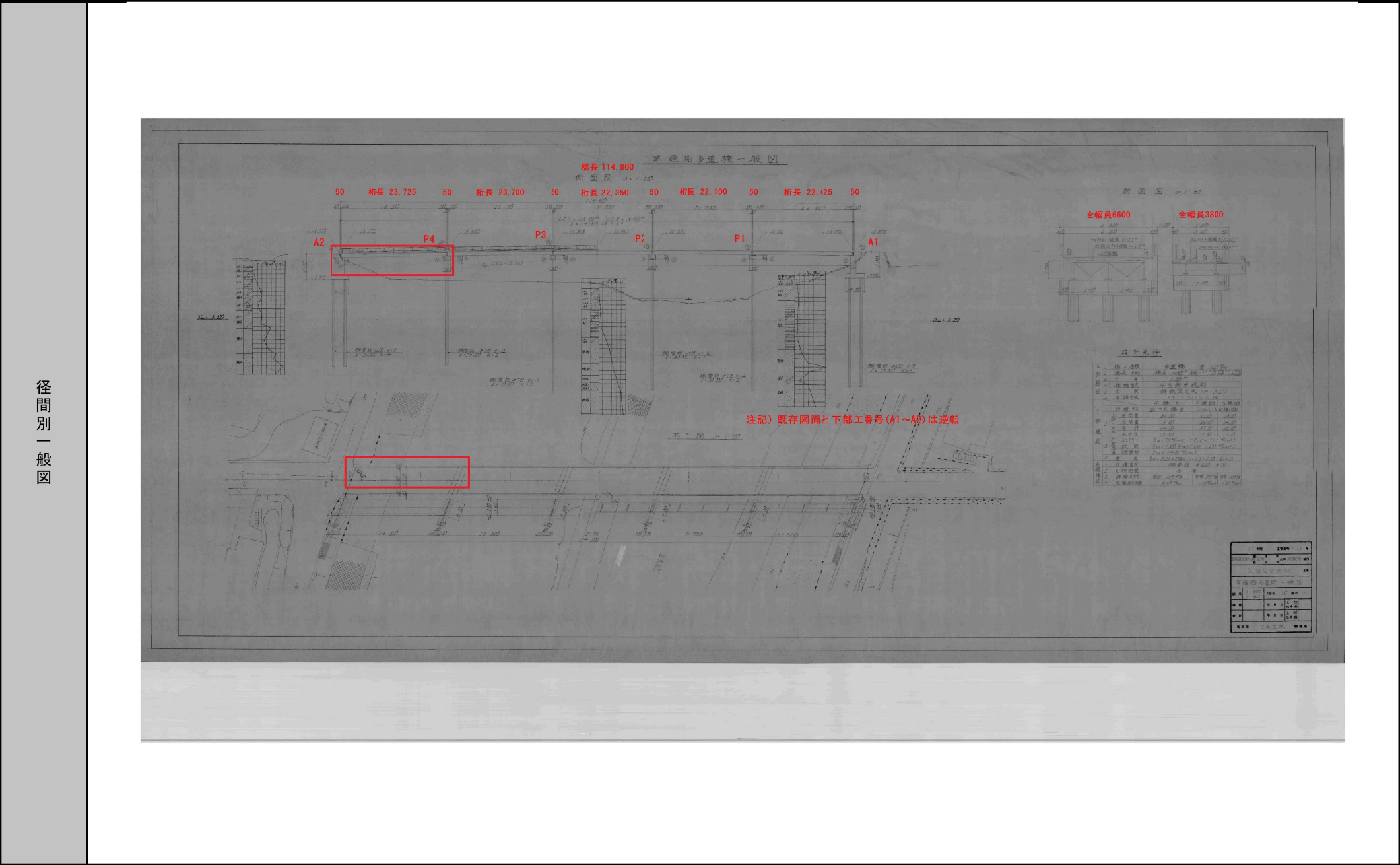
市町村	見附市	点検日	2019/10/17
-----	-----	-----	------------



橋梁番号 (分割番号)	68402 -2	フリガナ 橋梁名	クサナギホドウキョウ 草薙歩道橋	上下線 歩・車	分離なし 歩道橋	径間 番号	5
----------------	----------	-------------	---------------------	------------	-------------	----------	---

標準点検調書(3-2.径間別一般図)

市町村	見附市	点検日	2019/10/17
-----	-----	-----	------------



橋梁番号 (分割番号)	68402    -2	フリガナ 橋梁名	クサナギホドウキョウ 草薺歩道橋	上下線 歩・車	分離なし 歩道橋	径間 番号	1
----------------	-------------	-------------	---------------------	------------	-------------	----------	---

標準点検調書(7.所見・見解)

市町村	見附市	点検日	2019/10/17
-----	-----	-----	------------

	所見 (部材の損傷の程度、進行性、要因について)	見解 (補修・補強、更新など今後の対策について)	その他
上部工	<ul style="list-style-type: none"> <li>上部工鋼部材に腐食、防食機能の劣化が見られる。</li> <li>スラブプレート床版に腐食、防食機能の劣化、遊離石灰が見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上部工鋼部材は、前回塗装(平成20年)から約11年が経過しており、局部的に腐食が始まっているため、部分的な塗替えを行うことが望ましい。</li> <li>スラブプレート床版の腐食、遊離石灰は、主に片持ち床版やプレート継目に見られ、橋面水の浸透あるいは地覆側面からの漏水が原因と考えられる。主構造の腐食抑制の観点から橋面防水及び地覆下面の水切り板設置を行い、部分的な塗装塗替えを行うことが望ましい。</li> </ul>	[補修履歴] 塗装塗替(平成20年)
下部工	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋台に遊離石灰を伴うひびわれ、漏水が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋台のひびわれは、初期欠陥(乾燥収縮及び水和熱)や経年劣化によるものと考えられ、幅0.2mm未満であるため経過観察とする。漏水は伸縮目地からの漏水と考えられ、上・下部工の劣化原因となるため、伸縮装置の設置を行うことが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋脚パイルベント 建設時塗装(昭和54年)</li> </ul>
支承部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支承に腐食、防食機能劣化が見られる。</li> <li>沓座モルタルにひびわれ、欠損が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支承は、前回塗装(平成20年)から約11年が経過しており、局部的に腐食が始まっているため、上部工と併せて部分的な塗替えを行うことが望ましい。</li> <li>沓座モルタルのひびわれは、軽微なため経過観察とする。欠損は、経年劣化によるものと考えられ、断面修復を行ことが望ましい。</li> </ul>	
路上	<ul style="list-style-type: none"> <li>防護柵に腐食、防食機能の劣化が見られる。</li> <li>地覆に側板の腐食(一部貫通)、剥離が見られる。</li> <li>伸縮装置に欠損(舗装のひびわれ)、漏水、地覆プレートの変形が見られる。</li> <li>舗装にひびわれ、凹凸が見られる。</li> <li>照明施設に欠損(カバーの消失)、電気ボックスの腐食が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防護柵の腐食は、軽微なため経過観察とする。起点側の転落防止柵の腐食は、塗装塗替えを行うことが望ましい。</li> <li>地覆側板の腐食は、水切り板設置と併せて当て板補修を行うことが望ましい。剥離は、部分的に断面修復を行うことが望ましい。</li> <li>伸縮目地は、下部工を参照。</li> <li>舗装は橋面防水と併せて舗装打替えを行うことが望ましい。</li> <li>照明施設は、カバーの取付、電気ボックスの取替えを行うことが望ましい。</li> </ul>	[補修履歴] 高欄塗装塗替(平成20年)
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水管に腐食(一部貫通)、防食機能の劣化が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水管の腐食(一部貫通)は、部分的な取替え等補修を行うことが望ましい。</li> </ul>	

橋梁番号 (分割番号)	68402    -2	フリガナ 橋梁名	クサナギホドウキョウ 草薺歩道橋	上下線 歩・車	分離なし 歩道橋	径間 番号	2
----------------	-------------	-------------	---------------------	------------	-------------	----------	---

標準点検調書(7.所見・見解)

市町村	見附市	点検日	2019/10/17
-----	-----	-----	------------

	所見 (部材の損傷の程度、進行性、要因について)	見解 (補修・補強、更新など今後の対策について)	その他
上部工	<ul style="list-style-type: none"> <li>上部工鋼部材に腐食、防食機能の劣化が見られる。</li> <li>スラブプレート床版に腐食、防食機能の劣化、遊離石灰が見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上部工鋼部材は、前回塗装(平成20年)から約11年が経過しており、局部的に腐食が始まっているため、部分的な塗替えを行うことが望ましい。</li> <li>スラブプレート床版の腐食、遊離石灰は、主に片持ち床版やプレート継目に見られ、橋面水の浸透あるいは地覆側面からの漏水が原因と考えられる。主構造の腐食抑制の観点から橋面防水及び地覆下面の水切り板設置を行い、部分的な塗装塗替えを行うことが望ましい。</li> </ul>	[補修履歴] 塗装塗替(平成20年)
下部工	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋脚にひびわれ、漏水、パイルベントの腐食、防食機能の劣化が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋脚のひびわれは、初期欠陥(乾燥収縮及び水和熱)や経年劣化によるものと考えられるが、幅0.2mm以上であるため、ひびわれ補修を行うことが望ましい。漏水は伸縮目地からの漏水と考えられ、上・下部工の劣化原因となるため、伸縮装置の設置を行うことが望ましい。橋脚パイルベントは、建設時塗装(昭和54年)から約40年が経過しており、全体に表面的な腐食が見られるため、全面塗装塗替えを行うことが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋脚パイルベント 建設時塗装(昭和54年)</li> </ul>
支承部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支承に腐食、防食機能劣化が見られる。</li> <li>沓座モルタルに欠損が見られる。</li> <li>落橋防止システム(連結板)に腐食、防食機能の劣化が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支承は、前回塗装(平成20年)から約11年が経過しており、局部的に腐食が始まっているため、上部工と併せて部分的な塗替えを行うことが望ましい。</li> <li>沓座モルタルの欠損は、経年劣化によるものと考えられ、断面修復を行うことが望ましい。</li> <li>連結板の腐食は、軽微なため経過観察とする。</li> </ul>	
路上	<ul style="list-style-type: none"> <li>防護柵に腐食、防食機能の劣化が見られる。</li> <li>地覆に側板の腐食(一部貫通)が見られる。</li> <li>伸縮装置に漏水が見られる。</li> <li>舗装にひびわれが見られる。</li> <li>照明施設に電気ボックスの腐食が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防護柵の腐食は、軽微なため経過観察とする。</li> <li>地覆側板の腐食は、水切り板設置と併せて当て板補修を行うことが望ましい。</li> <li>伸縮目地は下部工参照。</li> <li>舗装は橋面防水と併せて舗装打替えを行うことが望ましい。</li> <li>照明施設は、電気ボックスの取替えを行うことが望ましい。</li> </ul>	[補修履歴] 高欄塗装塗替(平成20年)
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水管に腐食(一部貫通)、防食機能の劣化が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水管の腐食(一部貫通)は、部分的な取替え等補修を行うことが望ましい。</li> </ul>	

橋梁番号 (分割番号)	68402 -2	フリガナ 橋梁名	クサナギホドウキョウ 草薺歩道橋	上下線 歩・車	分離なし 歩道橋	径間 番号	3
----------------	----------	-------------	---------------------	------------	-------------	----------	---

## 標準点検調書(7.所見・見解)

市町村	見附市	点検日	2019/10/17
-----	-----	-----	------------

	所見 (部材の損傷の程度、進行性、要因について)	見解 (補修・補強、更新など今後の対策について)	その他
上部工	<ul style="list-style-type: none"> <li>上部工鋼部材に腐食、防食機能の劣化が見られる。</li> <li>スラブプレート床版に腐食、防食機能の劣化、遊離石灰が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上部工鋼部材は、前回塗装(平成20年)から約11年が経過しており、局部的に腐食が始まっているため、部分的な塗替えを行うことが望ましい。</li> <li>スラブプレート床版の腐食、遊離石灰は、主に片持ち床版やプレート継目に見られ、橋面水の浸透あるいは地覆側面からの漏水が原因と考えられる。主構造の腐食抑制の観点から橋面防水及び地覆下面の水切り板設置を行い、部分的な塗装塗替えを行うことが望ましい。</li> </ul>	[補修履歴] 塗装塗替(平成20年)
下部工	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋脚に剥離、漏水、パイルベントの腐食、防食機能の劣化が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋脚の剥離は、経年劣化によるものと考えられ、部分的に断面修復を行うことが望ましい。漏水は伸縮目地からの漏水と考えられ、上・下部工の劣化原因となるため、伸縮装置の設置を行うことが望ましい。橋脚パイルベントは、建設時塗装(昭和54年)から約40年が経過しており、全体に表面的な腐食が見られるため、全面塗装塗替えを行うことが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋脚パイルベント 建設時塗装(昭和54年)</li> <li>超音波厚さ計による板厚測定の結果、P2橋脚気中部において2mm程度の板厚減少が見られた。</li> </ul>
支承部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支承に腐食、防食機能劣化が見られる。</li> <li>沓座モルタルに欠損が見られる。</li> <li>落橋防止システム(連結板)に腐食、防食機能の劣化が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支承は、前回塗装(平成20年)から約11年が経過しており、局部的に腐食が始まっているため、上部工と併せて部分的な塗替えを行うことが望ましい。</li> <li>沓座モルタルの欠損は、経年劣化によるものと考えられ、断面修復を行うことが望ましい。</li> <li>連結板の腐食は、上部工と併せて部分的な塗替えを行うことが望ましい。</li> </ul>	
路上	<ul style="list-style-type: none"> <li>防護柵に腐食、防食機能の劣化が見られる。</li> <li>地覆に側板の腐食(一部貫通)が見られる。</li> <li>伸縮装置に漏水が見られる。</li> <li>舗装にひびわれが見られる。</li> <li>照明施設に欠損(カバーの消失)、電気ボックスの腐食が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防護柵の腐食は、軽微なため経過観察とする。</li> <li>地覆側板の腐食は、水切り板設置と併せて当て板補修を行うことが望ましい。</li> <li>伸縮目地は下部工参照。</li> <li>舗装は橋面防水と併せて舗装打替えを行うことが望ましい。</li> <li>照明施設は、カバーの取付、電気ボックスの取替えを行うことが望ましい。</li> </ul>	[補修履歴] 高欄塗装塗替(平成20年)
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水管に腐食(一部貫通)、防食機能の劣化が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水管の腐食(一部貫通)は、部分的な取替え等補修を行うことが望ましい。</li> </ul>	

橋梁番号 (分割番号)	68402 -2	フリガナ 橋梁名	クサナギホドウキョウ 草薺歩道橋	上下線 歩・車	分離なし 歩道橋	径間 番号	4
----------------	----------	-------------	---------------------	------------	-------------	----------	---

# 標準点検調書(7.所見・見解)

市町村	見附市	点検日	2019/10/17
-----	-----	-----	------------

	所見 (部材の損傷の程度、進行性、要因について)	見解 (補修・補強、更新など今後の対策について)	その他
上部工	<ul style="list-style-type: none"> <li>上部工鋼部材に腐食、防食機能の劣化が見られる。</li> <li>スラブプレート床版に腐食、防食機能の劣化、遊離石灰が見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上部工鋼部材は、前回塗装(平成20年)から約11年が経過しており、局部的に腐食が始まっているため、部分的な塗替えを行うことが望ましい。</li> <li>スラブプレート床版の腐食、遊離石灰は、主に片持ち床版やプレート継目に見られ、橋面水の浸透あるいは地覆側面からの漏水が原因と考えられる。主構造の腐食抑制の観点から橋面防水及び地覆下面の水切り板設置を行い、部分的な塗装塗替えを行うことが望ましい。</li> </ul>	[補修履歴] 塗装塗替(平成20年)
下部工	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋脚にひびわれ、漏水、パイルベントの腐食、防食機能の劣化が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋脚のひびわれは、初期欠陥(乾燥収縮及び水和熱)や経年劣化によるものと考えられるが、幅0.2mm以上であるため、ひびわれ補修を行うことが望ましい。漏水は伸縮目地からの漏水と考えられ、上・下部工の劣化原因となるため、伸縮装置の設置を行うことが望ましい。橋脚パイルベントは、建設時塗装(昭和54年)から約40年が経過しており、全体に表面的な腐食が見られるため、全面塗装塗替えを行うことが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋脚パイルベント 建設時塗装(昭和54年)</li> </ul>
支承部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支承に腐食、防食機能劣化が見られる。</li> <li>沓座モルタルに欠損が見られる。</li> <li>落橋防止システム(連結板)に腐食、防食機能の劣化が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支承は、前回塗装(平成20年)から約11年が経過しており、局部的に腐食が始まっているため、上部工と併せて部分的な塗替えを行うことが望ましい。</li> <li>沓座モルタルの欠損は、経年劣化によるものと考えられ、断面修復を行うことが望ましい。</li> <li>連結板の腐食は、軽微なため経過観察とする。</li> </ul>	
路上	<ul style="list-style-type: none"> <li>防護柵に腐食、防食機能の劣化、変形が見られる。</li> <li>伸縮装置に漏水が見られる。</li> <li>舗装にひびわれが見られる。</li> <li>照明施設に電気ボックスの腐食が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防護柵の腐食、変形は、軽微なため経過観察とする。</li> <li>伸縮目地は下部工参照。</li> <li>舗装は橋面防水と併せて舗装打替えを行うことが望ましい。</li> <li>照明施設は、電気ボックスの取替えを行うことが望ましい。</li> </ul>	[補修履歴] 高欄塗装塗替(平成20年)
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水管に腐食(一部貫通)、防食機能の劣化が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水管の腐食(一部貫通)は、部分的な取替え等補修を行うことが望ましい。</li> </ul>	

橋梁番号 (分割番号)	68402 -2	フリガナ 橋梁名	クサナギホドウキョウ 草薺歩道橋	上下線 歩・車	分離なし 歩道橋	径間 番号	5
----------------	----------	-------------	---------------------	------------	-------------	----------	---

標準点検調書(7.所見・見解)

市町村	見附市	点検日	2019/10/17
-----	-----	-----	------------

	所見 (部材の損傷の程度、進行性、要因について)	見解 (補修・補強、更新など今後の対策について)	その他
上部工	<ul style="list-style-type: none"> <li>上部工鋼部材に腐食、防食機能の劣化が見られる。</li> <li>スラブプレート床版に腐食、防食機能の劣化、遊離石灰が見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上部工鋼部材は、前回塗装(平成20年)から約11年が経過しており、局部的に腐食が始まっているため、部分的な塗替えを行うことが望ましい。</li> <li>スラブプレート床版の腐食、遊離石灰は、主に片持ち床版やプレート継目に見られ、橋面水の浸透あるいは地覆側面からの漏水が原因と考えられる。主構造の腐食抑制の観点から橋面防水及び地覆下面の水切り板設置を行い、部分的な塗装塗替えを行うことが望ましい。</li> </ul>	[補修履歴] 塗装塗替(平成20年)
下部工	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋脚にひびわれ、うき、漏水、パイルベントの腐食、防食機能の劣化が見られる。</li> <li>橋台に剥離、漏水が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋脚のひびわれは、初期欠陥(乾燥収縮及び水和熱)や経年劣化によるものと考えられるが、幅0.2mm以上であるため、ひびわれ補修を行うことが望ましい。うき、剥離は、経年劣化によるものであり、部分的に断面修復を行うことが望ましい。漏水は伸縮目地からの漏水と考えられ、上・下部工の劣化原因となるため、伸縮装置の設置を行うことが望ましい。橋脚パイルベントは、建設時塗装(昭和54年)から約40年が経過しており、全体に表面的な腐食が見られるため、全面塗装塗替えを行うことが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋脚パイルベント 建設時塗装(昭和54年)</li> </ul>
支承部	<ul style="list-style-type: none"> <li>支承に腐食、防食機能劣化、アンカーボルトのゆるみが見られる。</li> <li>沓座モルタルに欠損が見られる。</li> <li>落橋防止システム(連結板)に腐食、防食機能の劣化が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A2支承アンカーボルトの突出は、建設時からのものと考えられるが、地震時に対する性能が低下しており、沓座モルタルの欠損も著しく、支承の沈下が懸念されるため、主桁の仮受けを行い、支承の据直し(新設アンカー)を行うことが望ましい。</li> <li>その他、支承部における損傷は、塗装塗替え及び沓座モルタルの断面修復を行うことが望ましい。</li> <li>連結板の腐食は、上部工と併せて部分的な塗替えを行うことが望ましい。</li> </ul>	
路上	<ul style="list-style-type: none"> <li>防護柵に腐食、防食機能の劣化、変形が見られる。</li> <li>地覆に側板の腐食(一部貫通)、剥離が見られる。</li> <li>伸縮装置に漏水、地覆プレートの変形が見られる。</li> <li>舗装にひびわれが見られる。</li> <li>照明施設に欠損(カバーの消失)、腐食、防食機能の劣化が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防護柵の腐食、変形は、軽微なため経過観察とする。終点側の転落防止柵の腐食は、塗装塗替えを行うことが望ましい。</li> <li>地覆側板の腐食は、水切り板設置と併せて当て板補修を行うことが望ましい。剥離は、部分的に断面修復を行うことが望ましい。</li> <li>伸縮目地は下部工参照。</li> <li>舗装は橋面防水と併せて舗装打替えを行うことが望ましい。</li> <li>照明施設は、カバーの取付、塗装塗替えを行うことが望ましい。</li> </ul>	[補修履歴] 高欄塗装塗替(平成20年)
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水管に腐食(一部貫通)、防食機能の劣化が見られる。</li> <li>添架物の支持金具に変形が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水管の腐食(一部貫通)は、部分的な取替え等補修を行うことが望ましい。</li> <li>添架物の損傷については、管理者と協議を行うことが望ましい。</li> </ul>	